

同時資料提供

大阪市政記者クラブ
大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

平成 26 年 9 月 19 日
大阪市立自然史博物館
TEL:06-6697-6221

「大阪自然史フェスティバル 2014」を開催します

大阪市立自然史博物館では、「大阪自然史フェスティバル 2014」を関西文化の日である平成 26 年 11 月 15 日（土）、11 月 16 日（日）に開催します。

「大阪自然史フェスティバル」は、自然関連のサークル、地域の自然保護団体等が一堂に会して出展する文化祭です。関連する博物館や企業も参加し、活動紹介やワークショップ等を通じて、市民のみなさんに大阪の自然の現状や自然に関わる楽しさを知っていただく為に、博物館と認定特定非営利活動法人大阪自然史センターの共催で開催するイベントです。

今回は、二酸化炭素排出抑制対策事業（地域における草の根活動支援事業）の一環として、「里山の利用と生物多様性」をテーマにしたブース展開やシンポジウム「2010年代の里山管理シンポジウム II 薪のある暮らしは何を変えるのか」が開催されます。地球温暖化と生物多様性の保全という 21 世紀の大きな課題を、無理のないかたちで少しでもつなげていくことはできないか、考えてみたいと思います。

「大阪自然史フェスティバル」は、2003 年、2004 年、2006 年、2009 年、2011、2012 年と過去 6 回開催し、2007 年、2010、2013 年にはテーマを鳥に絞った「大阪バードフェスティバル」、2008 年は、関西自然保護機構創立 30 周年を記念して企画した「かんさい自然フェスタ」と、さまざまなフェスティバルを実施してきました。毎回当初の予想以上の盛り上がりを見せ、各回の来場者は 1 万人を超え、多くの方々に「自然の文化祭」を楽しんでいただいております。

今回も自然に興味のある多くの方々の来場をお待ちしております。

■開催概要

1. 名 称：「大阪自然史フェスティバル 2014」
2. 期 間：平成 26 年 11 月 15 日（土）、11 月 16 日（日）
3. 会 場：大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、ネイチャーホール
（花と緑と自然の情報センター2 階）
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23（長居公園内）
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」下車 3 号出口・東へ 800m
JR 阪和線「長居」下車東出口・東へ 1000m

4. 入 場 料：無料

※平成 26 年 11 月 15 日（土）・11 月 16 日（日）ともに「関西文化の日」のため、博物館本館入館料も無料となります。

5. 開催時間：9 時 30 分から 16 時 30 分（ただし両日とも入館は 16 時まで）

6. 開催内容

◆ブース展示（両日とも開催）

本館・ネイチャーホール・ポーチなどで、出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。水槽での生き物展示もあります。

◆ワークショップ（両日とも開催）

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

◆世界の双眼鏡・望遠鏡が勢揃い（両日とも開催）

ケンコー、コーワ、ニコン、ビクセンをはじめとして、世界各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。
場所：自然史博物館玄関前ポーチ

◆ 講習会

・谷口高司鳥絵工房「谷口高司のたまご式鳥絵塾」

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。
オリジナル野鳥缶バッジ プレゼント！

日時：＜小学生向け：キンクロハジロ＞ 11 月 15 日（土）10：30～11：30
11 月 16 日（日）10：30～11：30
＜大人～中学生向け：ヤマガラ＞ 11 月 15 日（土）14：30～15：30
11 月 16 日（日）13：00～14：00
＜大人～中学生向け：コウノトリ＞ 11 月 16 日（日）14：30～15：30

参加費：1000 円（画材代）

主催：谷口高司鳥絵工房

その他：画像の持込不可、写真撮影禁止、保護者の同席不可

・「叶内拓哉 350mm/500mm/850mm 超望遠撮影体験」

個人でお持ちのデジタル一眼をご持参いただき、撮影ノウハウなどを実地で聞ける体験イベントです。

日時：11 月 15 日（土）10:30～11:30

参加費：無料

講師：叶内拓哉氏（野鳥写真家）

主催：興和光学株式会社

・「叶内拓哉 野鳥の話 アレコレ」

野鳥撮影はもちろんのこと、豊富な経験・知識を元にした野鳥に関する話を聞くことができます。

日時：11 月 15 日（土）13:00～14:30

参加費：無料

講師：叶内拓哉氏（野鳥写真家）

主催：興和光学株式会社

「はじめての鳥みたい（隊）」

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだあまり経験のない方も大歓迎です。

日時：11月16日（日） 10：30～12：00、13：30～15：00

参加費：無料

定員：各回 50 名

主催：日本野鳥の会大阪支部

「植物園の小さな秋を見つけよう」

長居植物園の植物や昆虫を観察して、秋の気配を探してみましょ。友の会評議員がやさしく案内するので、小さなお子さんから大人まで参加できます。

日時：11月15日（土）・16日（日） 【両日とも】 11：30～13：00、14：00～15：30

参加費：無料

定員：各回 30 名

主催：大阪市立自然史博物館友の会

その他：長居植物園内で昆虫などの採集はできません。

◆講堂プログラム

<11月15日（土）>

記念シンポジウム「森に生きる不思議なサギ ミゾゴイ ～その暮らしを知り、保護を考える～」

日本野鳥の会大阪支部 講演

2013年10月に大阪の都心、新梅田シティの人工庭園に、「幻の鳥」とまで言われ観察が困難なミゾゴイの幼鳥が飛来。そこで、ミゾゴイの暮らしや保護について考える機会を持ちたいと思います。東京の多摩西部地域で長年ミゾゴイの調査研究をされ、ミゾゴイが昼行性の鳥であることなど多くの新しい生態を明らかにされた川名国男氏にミゾゴイの生態と習性についてお話しいただきます。また、新梅田シティに滞在したミゾゴイの採餌行動を中心とした生態について報告し、滅びゆくミゾゴイの現状や保護の課題などについて、ディスカッションを行いまとめとします。

日時：11月15日（土） 13：00～15：30

会場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

プログラム：

基調講演「ミゾゴイの魅力～分かってきた生態と習性～」川名国男氏（ミゾゴイ研究会代表）

・報告「新梅田シティのミゾゴイを密着追跡した3日間～採餌行動を中心に～」納家 仁氏（日本野鳥の会大阪支部）

・パネルディスカッション「ミゾゴイを守るために 現状と課題」

パネリスト：川名国男氏、納家 仁氏、橋本正弘氏（大阪府鳥獣専門員）

<11月16日(日)>

講演会「大震災が東北太平洋沿岸域に及ぼした影響とその後のベントスの回復状況」

東北沿岸の干潟は、2011年の東日本大震災に伴う津波で激しく攪乱されました。干潟地形や底生生物(ベントス)の回復傾向、そして堤防や護岸壁といった復興工事による干潟の生物への影響について、現地でモニタリング調査を続ける東北大学大学院の鈴木孝男氏にお話し頂きます。

日時：11月16日(日) 10:30~12:00

会場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

講師：鈴木孝男氏(東北大学大学院生命科学研究科)

主催：大阪湾海岸生物研究会

シンポジウム「2010年代の里山管理シンポジウムII 薪のある暮らしは何を変えるのか」

近年、「薪ストーブ」が少しずつ注目されています。ストーブの性能向上によって煙や匂いが少なくなり、住宅地の一軒家でも現実的な存在になりつつあります。薪の利用は「里山管理」として生き物の保全につながるとともに、化石燃料の消費を抑制し地球温暖化防止にもつなげられる可能性を秘めています。21世紀の大阪で「薪」にどのくらい現実味があるのか、探してみたいと思います。

このシンポジウムは、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における草の根活動支援事業)を受けて認定特定非営利活動法人大阪自然史センターが実施します。

日時：11月16日(日) 13:00~16:30

会場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

プログラム概要

「里山管理は二酸化炭素排出抑制と生物多様性の二兎を追えるのか」

佐久間大輔氏(大阪市立自然史博物館)

「里山はなぜ管理を必要とするか」

大住克博氏(鳥取大学)

「長岡京での里山活用実証実験」

奥敬一氏(富山大学)

「薪ストーブのある暮らし」

中田兼介氏(京都女子大学)

「せどやま事業の狙うもの」

白川勝信氏(北広島町 芸北 高原の
自然館)

総合討論 上記メンバーほか

7. 主催：

大阪市立自然史博物館、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、関西自然保護機構

8. 協賛：

株式会社 アクアテイメント、株式会社 エンウイット、桶本製作所 カエル工房、株式会社 ガード
フォースジャパン、協栄産業 株式会社、株式会社 ケンコー・トキナー、興和光学 株式会社
タイガー魔法瓶 株式会社、株式会社 ニコンイメージングジャパン、一般社団法人 日本望遠鏡工
業会、株式会社 阪神交易、株式会社 ビクセン、株式会社 文一総合出版、招き鳥の巣、株式会社 モ
ンベル、株式会社 レイマー

9. 協 力:

大阪生物多様性保全ネットワーク、大阪府森林組合、谷口高司鳥絵工房、日本野鳥の会 大阪支部

10. 出展団体:大阪周辺の自然観察団体など107団体(予定)

株式会社 アクアテイメント、芥川緑地資料館、芥川倶楽部、池田・人と自然の会、伊丹市昆虫館、伊丹市昆虫館友の会、株式会社 エンウィット、大阪市、大阪市エコボランティア(大阪市環境局)、一般財団法人 大阪市教育振興公社 キッズプラザ大阪、公益社団法人 大阪自然環境保全協会、公益社団法人 大阪自然環境保全協会 堺自然観察会、公益社団法人 大阪自然環境保全協会 そよごの会・地域自然観察会、認定特定非営利活動法人 大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館 友の会、大阪生物多様性保全ネットワーク、大阪石友会、大阪府、大阪府高等学校地学教育研究会、大阪府森林組合、大阪府地球温暖化防止活動推進員・自然エネルギーを推進する会、大阪変形菌おっかけ隊、公益財団法人大阪みどりのトラスト協会、桶本製作所 カエル工房、乙田休耕田クラブ、株式会社 ガードフォースジャパン、橿原市昆虫館友の会、カフェスロー大阪、河内長野野鳥の会、川西自然教室、一般財団法人 環境事業協会、関西菌類談話会、関西自然保護機構、関西バードカービングクラブ、岸和田市、きしわだ自然友の会、きしわだ自然資料館、岸和田市立光陽中学校 科学部、協栄産業 株式会社、NPO 法人 共生の森、京都学園大学 生物研究会、近畿植物同好会、近大ホネホネ団、株式会社 ケンコー・トキナー、甲南高等学校・中学校 生物研究部、神戸市立 須磨海浜水族園ボランティア、興和光学 株式会社、国際自然保護連合日本委員会 (IUCNJ)、堺市、五月山動物園(一般財団法人 池田市公共施設管理公社)、里山田舎ごっこ、NPO 法人 山野草の里づくりの会、静岡科学館る・く・る、自然環境研究オフィス、自然遊学館わくわくクラブ、しだところけ談話会、特定非営利活動法人 シニア自然大学校、NPO 法人 信太の森FANクラブ、ジュゴン保護キャンペーンセンター(SDCC)、ジュニア自然史クラブ、特定非営利活動法人 すいた市民環境会議、吹田ヒメボタルの会、公益社団法人 生態系トラスト協会、泉北野鳥の会、タイガー魔法瓶 株式会社、谷口高司鳥絵工房(有限会社フィールドアート)、WWF-関西 有志の集い、淡水魚ミュージアム雑魚寝館、たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会、タンポポ調査・西日本実行委員会、特定非営利活動法人 地域と自然、TEAM 魚っしょい!、地学団体研究会大阪支部、友の会読書サークルBOOKS、NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会、なにわホネホネ団、奈良植物研究会、株式会社 ニコンイメージングジャパン、認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会、特定非営利活動法人西本自然史系博物館ネットワーク、西宮市貝類館、西淀自然文化協会、特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会、日本バードカービング協会、一般社団法人 日本望遠鏡工業会、公益財団法人日本野鳥の会、日本野鳥の会 大阪支部、寝屋川市自然を学ぶ会、日本野鳥の会 京都支部、浜寺公園自然の会、株式会社 阪神交易、株式会社 ビクセン、兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科、株式会社 文一総合出版、pumpum、本山寺自然環境保全地域を考える協議会、公益財団法人益富地学会館、招き鳥の巣、南大阪昆虫同好会、京エコロジーセンター(京都市環境保全活動センター)、虫いっぱい里山づくり隊、株式会社 モンベル、特定非営利活動法人 やましろ里山の会、夕陽さんさん(SUNSUN)の会、淀川管内河川レンジャー、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク、株式会社 レイマー(50音順)

11. 問合せ

◆フェスティバルに関するお問い合わせ

大阪自然史フェスティバル事務局

(認定特定非営利活動法人大阪自然史センター内)

TEL : 06-6697-6262 FAX : 06-6697-6306

MAIL : fes2014@mus-nh.city.osaka.jp

「大阪自然史フェスティバル2014」公式webサイト

<http://www.omnh.net/npo/fes/2014/>

◆取材・広報・広報用画像に関するお問い合わせ

大阪市立自然史博物館 総務課 広報担当 山上 (やまがみ)

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23 (長居公園内)

TEL : 06-6697-6221 FAX : 06-6697-6225

MAIL : k-yamagami@ocmo.jp

◆広報用提供写真

1. 会場内の出展ブースの様子
(ネイチャーホール)



4. 日本野鳥の会大阪支部による
バードウォッチング入門講座



2. 会場内の出展ブースの様子
(玄関ポーチ)



5. 大阪市立自然史博物館友の会による
自然観察体験



3. 自然の素材を使った工作体験
(イメージ)

